



福井大学教育学部附属
義務教育学校

No. 03

令和2年10月27日

学校だより

後期始業式 前期課程 校長講話

「小さな習慣」が大きな自信に

令和2年度前期の終業式から3日間という短い休みでしたが、みなさんは、リフレッシュできましたか？ 今日から、後期が始まります。前期には実施できなかった大きな学年活動が、11月から予定されています。修学旅行、宿泊学習、各学年の校外学習など、みなさんが心待ちにしていた行事が計画されています。

福井県は今のところ、コロナウィルスの感染者数は落ち着いていますが、世界各国の感染者数が増加していることは、みなさんもニュースで知っていることと思います。まだまだ安心できない状況です。

これからも、皆さん一人一人が、感染しないように気を付けて、ソーシャルディスタンスを守った学校生活を続けていきましょう。冬にかけて、コロナやインフルエンザに負けずに、元気に後期をスタートさせましょう。

さて、今日は、2つのことをお話します。まず、**1つ目は、自分との約束「小さな習慣」を決めて実行すること**についてです。新しい学年に進級してからの半年間の自分の学校生活を振り返って、「後期は、こんなことをやってみよう。」「今度はこれに挑戦するぞ!」とか、心ひそかに決めたことがあるのではないでしょうか。終業式では、93日間の学校生活の中で、各学年みなさんの強く印象に残っている活動の様子を紹介しました。そして、一人一人はいろんな可能性があること、後期の目標づくりに役立ててくださいとお話しました。覚えていますか？

では、みなさんに聞きます。後期から取り組む自分との約束を決めていますか？

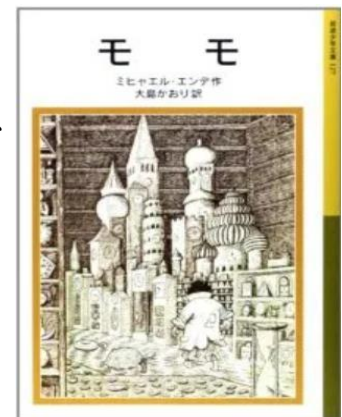
今日、お話するのは、大きな目標でなくてもいい、毎日必ずできる小さな習慣を1つ決めて実行しようということです。たとえば、

- ・1日1回は自分からあいさつする
- ・相手が喜びを感じる言葉を1日1回使う
- ・1日1回、ありがとうと言う
- ・苦手な教科の時に、手を挙げて1回発言する
- ・授業と関係ないおしゃべりを1回がまんする
- ・お手伝いを1日1つする などなど

小さなことでいいのです。自分が「毎日、これだけは必ずやる!」と決めて実行することを1つ決めてください。ちょっとした前向きな行動が習慣化していくと、もっと大きな目標をかなえることに近づいていきます。さあ、みなさん一人一人が、毎日の習慣にして行い続けることを1つ考えて決めましょう。あとで、教えてくださいね。

2つ目は、クラスや学年を超えて友達や仲間との協力が大切だということです。協力はかけ算といわれています。一人では協力は成り立たないけれど、みんなで力を合わせると大きな成果が得られることは、先日の校内運動会で実感したと思います。半年後の進級を見通して、学年で、あるいは学団で協力し合い、確実な自分たちの学びの足跡を残して行ってほしいと思います。

毎日の小さな習慣を実行している自分をほめましょう。その小さな努力は自分の力となって自信になります。すると、不安より大きな勇気を感じるようになります。そんなみなさんが協力し合えば、前期課程の学校生活はもっと楽しく豊かになって、一人一人の輝きは増していくと思います。そんな前期課程を397人のみなさんと先生方とで創り上げていきましょう。



おすすめ本「モモ」です

鳥は飛び方を変えることはできない。動物は這い方、走り方を変えることはできない。しかし、人間は生き方を変えることができる。(中略) 新しい習慣の形成により、新しい自己を形成することができる。

by 日野原重明氏(医師)

未来のために あなたが 今できることとは

令和2年度前期の終業式から3日間という短い休みでしたが、みなさんは、リフレッシュできましたか？ 福井県は今のところ、コロナウィルスの感染者数は落ち着いていますが、世界各国の感染者数が増加していることは、みなさんもニュースで知っていることと思います。まだまだ安心できない状況です。

これからも、皆さん一人一人が、感染しないように気を付けて、ソーシャルディスタンスを守った学校生活を続けていきましょう。冬にかけて、コロナやインフルエンザに負けずに、元気に後期をスタートしましょう。

さて、前期最大の学校行事である体育祭と文化祭を9年生の力強いリーダーシップのもと、7年生も8年生も負けず劣らずの団結力を発揮し、コロナ禍での新しい形の取組を見せてくれました。あの時のみなさんの姿とパワーは今も、私の目に焼き付いています。

文化祭エンディングの私の話を覚えているでしょうか？私は、みなさんの柔軟なアイデアと構想力から進めてきた企画（9年生の演劇、8年生と7年生の学年プロジェクトの発表など）の質の高さはもちろん、それをやり遂げようと気配りし合い、ひたむきに取り組む一人一人の気迫と粘り強い姿勢、そしてチームワークに感動しました。だからこそ、**このエネルギー**をこれからの学校生活や家庭生活、自分の進路や自分の将来に向けて「**転移**」させていくことが大切であり、それが本校の生徒文化になっていると話しました。

では、あなた自身が体育祭や文化祭などの活動を通して、学んだものや気づいたこと、得たもの（力）はありますか？頭に浮かぶ言葉を書き上げてみてください。聡明なみなさんが書き上げた言葉（力など）が、これからのあなた自身の生き方はもちろん、学級・学年の中で「転移」し成長していくものだと考えます。私は、次のように考えます。

「転移」し、成長していく力とは・・・

- ・自信
- ・回復力
- ・判断力
- ・実行力
- ・共感性
- ・積極性
- ・解決力
- ・自律心

どうでしょう？みなさんが考えた力や言葉と重なる言葉はありますか？より素晴らしい言葉を考えて人もいることと思います。みなさんが考えた言葉を見るのが楽しみです。

また、私は、あの時、転移し成長させるために必要な3つの「気」についても話しました。「**勇氣**」「**本気**」「**根気**」です。

やる気が起これば「勇氣」が湧く

勇氣が湧けば「本気」になれる

本気になれば「根気」が続く

57年間継承されている校訓『自主協同』の精神の根底には、この3つの「気」があるといっても過言ではありません。

では最後に、稲盛和夫氏（日本の実業家 京セラ・現 KDDI 創業者）のこの言葉を紹介합니다。

自信って、自分との約束を守った量のことをいう。
現在は過去の努力の結果であり、**将来は今後の努力**で決まっていく。
可能性とは、つまり「**未来の能力**」のことだ。

さあ、今日から、令和2年度の後期が始まります。各教科の授業、学年プロジェクト、生徒会活動、部活動など、日常の学校生活や家庭生活の中で、自分を信じ、人とのつながりを大切にしていましょ。一人一人の「知性+個性」が輝き、未来への学びを拓く最高の学校を、みなさんと先生方と共に創っていきましょう。

